

## 「国家戦略フォーラム in 岡山」の概要（報告）

### 1. 趣旨

「日本再生戦略」を骨太なものにするためには、地方における先進的な取組事例や意見を取り入れていくことが重要との観点から、国家戦略会議議員による地方視察や意見交換会を開催。第一弾として、「国家戦略フォーラム in 岡山」と題し、地域からいかにイノベーションを起こし日本の成長につなげていくか等について現地企業の経営者等と意見交換を実施。

### 2. 開催概要

日にち：平成 24 年 2 月 25 日（土）

出席者：古川元久 国家戦略担当大臣

岩田一政 日本経済研究センター理事長

現地企業経営者・NPO 関係者

### 3. 主な意見・指摘事項

- ・国内医療機器市場では外資系企業が多くシェアを占めている。世界初の技術を開発しても治験や認可に時間がかかり、販売するときには外資系企業に先を越されることになる。医療需要が伸びる中で医療分野を成長産業とするためにも、国内企業の足かせとなっている規制の改革や審査制度の充実等を進めるべき。
- ・水島コンビナートでは、エリア内の企業が連携し生産ネットワークの最適化を進めているが、エネルギー等のインフラ面の規制がボトルネックとなり、製品開発とのスピードに齟齬が生じている。総合特区に指定されたので規制のボトルネックの解消を進めていきたい。
- ・起業を目指す若者が地域の森林資源を活用した商品開発に取り組んでいる。地域には眠っている資源があり、それを活用できる人材の育成が重要。
- ・学校教育の段階から自立心を養い、若者が起業マインドを持つようにすべき。また、起業の支援策は色々あるがほとんど周知されておらず、政策の効果が出にくくなっているので広報の仕方を工夫すべき。
- ・中小企業やベンチャー企業の R&D に対する補助金については、事業化につながるように工夫する必要があるとともに、成果をしっかりと確認し、説明責任を持たせるべき。